

平成27年12月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,718,378	187,840	1,807,922	66.5%	910,456		
1. 営業収益	2,295,737	183,647	1,771,371	77.2%	524,366		
1. 給水収益	2,260,332	182,937	1,743,152	77.1%	517,180		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	710	28,218	79.7%	7,187		
2. 営業外収益	421,760	4,094	35,434	8.4%	386,326		
3. 特別利益	881	99	1,118	126.9%	△ 237		
9. 水道事業費用	2,436,738	94,524	766,937	31.5%	1,669,801	938,741	38.5%
1. 営業費用	2,121,988	94,476	642,590	30.3%	1,479,398	814,248	38.4%
1. 原水及び浄水費	420,983	26,100	227,129	54.0%	193,854	282,027	67.0%
2. 配水費	284,777	25,190	135,224	47.5%	149,553	169,700	59.6%
3. 給水費	101,504	10,490	81,953	80.7%	19,551	88,735	87.4%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,009	14,619	108,875	67.2%	53,134	157,594	97.3%
6. 総係費	148,288	18,076	89,337	60.2%	58,951	116,119	78.3%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100		73	0.2%	30,027	73	0.2%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	293,027		123,948	42.3%	169,079	123,948	42.3%
3. 特別損失	1,723	49	399	23.2%	1,324	545	31.6%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	3,006,208	1,907	16,651	0.6%	2,989,557		
1. 企業債	1,646,800				1,646,800		
2. 負担金・補償金	56,528	481	6,834	12.1%	49,694		
3. 補助金	541,847				541,847		
4. 出資金	745,967				745,967		
5. 加入金	15,066	1,426	9,817	65.2%	5,249		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	4,071,062	69,390	489,386	12.0%	3,581,676	3,246,873	79.8%
1. 建設改良費	3,438,955	69,390	175,955	5.1%	3,263,000	2,933,442	85.3%
1. 取水施設整備費	761,076	4,590	4,590	0.6%	756,486	759,618	99.8%
2. 導水施設整備費	188,460				188,460	188,460	100.0%
3. 浄水施設整備費	90,688				90,688	72,900	80.4%
4. 配給水施設整備費	2,395,707	64,800	168,735	7.0%	2,226,972	1,909,834	79.7%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024		2,630	87.0%	394	2,630	87.0%
2. 企業債償還金	632,107		313,431	49.6%	318,676	313,431	49.6%
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	4,225	25,677	41.8%	35,804	50,257	81.7%
①有収水量	8,069,200	637,210	6,142,170	76.1%	1,927,030		
②供給単価	280.12	287.09	283.80	101.3%	△ 3.68		
③給水原価	258.40	148.26	124.80	48.3%	133.60		
人件費	232,277	42,345	184,679	79.5%	47,598		
1. 収益的収支	201,521	37,037	159,649	79.2%	41,872		
1. 職員給与費	200,537	37,009	159,368	79.5%	41,169		
2. 特別職(報酬、賃金等)	984	28	281	28.6%	703		
2. 資本的収支	30,756	5,308	25,030	81.4%	5,726		
* 職員給与費	231,293	42,317	184,398	79.7%	46,895		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.9%	20.2%	9.1%				
2. 全職員	10.2%	23.1%	10.6%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,755,516	164,350	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,294	△ 17	
B. 流動資産	3,022,987	3,270,139	247,152	
1. 現金預金	2,712,061	2,124,636	△ 587,425	
2. 未収金	276,762	212,006	△ 64,756	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	33,373	△ 600	
5. 前払費用・前払金	190	832,697	832,507	工事前払金等
6. その他		67,426	67,426	仮払消費税
D. 水道事業費用		733,223	733,223	
1. 営業費用		608,904	608,904	
2. 営業外費用		123,948	123,948	
3. 特別損失		371	371	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	47,985,481	1,977,231	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	550,121	△ 548,412	
1. 企業債	632,104	318,673	△ 313,431	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	36,853	△ 357,923	未払消費税含む
3. 前受金	77	76	△ 1	
4. 引当金	69,681	55,000	△ 14,681	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	139,520	138,821	
うち仮受消費税		132,358	132,358	
G. 繰延収益	8,983,550	8,999,234	15,684	
1. 長期前受金	8,983,550	8,999,234	15,684	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	
1. 自己資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,619,071	22,900	△ 2,596,172	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172		△ 2,596,172	
K. 水道事業収益		1,676,272	1,676,272	
1. 営業収益		1,642,248	1,642,248	
2. 営業外収益		32,981	32,981	
3. 特別利益		1,043	1,043	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	47,985,481	1,144,724	

a. 供給単価(円、銭)	262.78	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	119.31	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	248.50	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.73%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.39%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	594.44%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	386.21%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 12月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,429	275,495	275,200	273,545	295	1,950
2 調定水量	m ³	632,971	6,103,849	6,141,000	6,119,994	△ 37,151	△ 16,145
3 調定料金(税抜)	円	169,386,253	1,613,975,926	1,602,800,000	1,608,175,161	11,175,926	5,800,765
4 口振加入件数	件	25,383	229,390	-	229,357	-	33

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	82,489	-	83,102	△ 613
6 給水件数	件	30,175	-	30,058	117
7 開栓処理件数	件	134	2,080	2,296	△ 216
8 閉栓処理件数	件	294	2,160	2,258	△ 98
9 給水工事設計審査	件	51	541	664	△ 123
10 給水工事竣工検査	件	89	645	801	△ 156
11 経年メーター交換	件	155	1,338	3,449	△ 2,111
12 メーター口径変更	件	1	20	47	△ 27
13 月末停止件数	件	2	76	114	△ 38

3 料金徴収関係

項目	A 当月末未収額		B 収納率		C 前年同期未収額		D 収納率	
14 当年度分	196,137,918	円	88.75	%	197,038,094	円	88.63	%
15 過年度分	4,707,594	円	97.47	%	4,421,410	円	97.70	%
16 全体(計)	200,845,512	円	-		201,459,504	円	-	

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	114	220

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	103/109	10/10	62/68	10/10	13/13	0/0	13/13	0/0	15/15	0/0	0/0	0/0
契約締結	一般	23	2	23	2	0	0	0	0	0	0	0
	指名	55	7	28	5	11	0	4	0	12	2	0
	随契	21	2	7	1	2	0	9	0	3	1	0
	合計	99	11	58	8	13	0	13	0	15	3	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計6件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	16	4	工事4件
中間検査	12	4	工事4件
合計	28	8	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	1日	12月期 事業打合せ等
事業調整会議	2日	第10回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	22日	11月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	9日	第9回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	8日	第9回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	15日	第9回 ブースターとの意見交換
給水拠点設置訓練	17日	第9回 豊里総合支所
例月出納検査	25日	11月期 月例監査
指名委員会	1・10・22日	第25回・第26回・第27回
入札	10・24日	6件・4件
緊急メールの発出	-日	漏水11、出水不良1

特記事項

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は182,937千円(税込)で、11月期に比べて6,161千円の減で、予算執行率(累計)は77.1%(前年度75.9%)、対前年同月比(税抜)では328千円の減となっています。手数料収益が710千円、営業外収益は事務手数料等で4,094千円となっています。

当期の営業費用は94,476千円の執行で、累計額は766,937千円、予算執行率(累計)は31.5%(前年度28.6%)となっております。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金が768千円、水道加入金が1,426千円、累計で16,651千円、予算執行率(累計)では0.6%(前年度3.1%)となっております。

支出は、取水施設で4,590千円、配水管整備で50,641千円、機器整備で8,802千円、事務費5,356千円等を執行し、予算執行率(累計)12.0%(前年度20.9%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,753千円、その他43,902千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会 12月定期議会が開会

平成27年度登米市議会定例会12月定期議会が12月3日(木)から16日(水)の日程で開催されました。水道事業所で提案した、平成27年度登米市水道事業会計補正予算(第2号)が原案どおり可決されました。内容は、会計システムリースに係る平成28年度から6年間の債務負担行為22,900千円の1件でした。

(2) 総務企画常任委員会で議会付議案件を説明

12月8日(火)に総務企画常任委員会が開催され、調査内容は12月定期議会への付議案件(補正予算)でした。また、平成28年度から5年間の契約で委託を行う、浄水施設等運転管理業務と配水施設等維持管理業務に係るプロポーザル選定委員会の結果、並びに主要建設改良事業2件の進捗状況について報告を行いました。

(3) 平成28年度当初予算の財政課ヒアリングを受ける

平成28年度の一般会計に係る当初予算についての財政課ヒアリングを12月4日(金)に受けました。内容は、環境課所管の負担金19,744千円と出資金564,500千円についてです。負担金は、児童手当に要する経費、小規模水道維持管理に要する経費、統合簡易水道等の経費(利子)の繰出しで、出資金は、統合簡易水道等の経費(元金)の繰出しと国庫補助4事業への出資となっています。

(4) 第2回施設更新計画策定委員会を開催

平成27年度第2回登米市水道事業施設更新計画策定委員会が12月16日(水)・17日(木)の両日開催されました。

1日目は、米谷・錦織・楼台及び大萱沢の各浄水場を視察しました。

2日目は会場を登米庁舎の2階会議室に移して、「アセットマネジメントについて」と「水道施設の需要見通しについて」を議題として会議を行いました。水道施設の需要見通しでは、施設更新に係る費用を大まかに15~18億円との試算を委員会に提示しました。精査が必要となりますが、料金の改定や財源、施設の廃止を含めた再配置等、今後十分な議論が必要との認識で閉会となりました。

(5) 宮城県と旧細倉鉾山に係る打合せを行う

9月10日(木)の台風18号と低気圧による豪雨のため、旧細倉鉾山から処理しないままの排水が河川に流出したと北上川下流河川事務所から連絡を受けました。この排水には、有害な鉛等が含まれており、迫川を水源としている石越浄水場は取水の緊急停止を行いました。このことから、主管課である環境課及び関連する農村整備課と協議し「細倉鉾山の公害防止に関する協定」に基づき、今後の対応等について、12月15日(火)に宮城県環境生活部環境対策課と打合せを行いました。



委員による施設の視察



需要見通しを審議

平成27年12月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	826,487	7,573,864	7,626,970	7,788,284	-53,106	-214,420
総配水量	790,785	7,193,011	7,342,070	7,393,572	-149,059	-200,561
1 有効水量	701,257	6,598,024	6,641,530	6,703,955	-43,506	-105,931
(1)有収水量	637,210	6,142,170	6,178,800	6,159,889	-36,630	-17,719
(2)無収水量	64,047	455,854	462,730	544,066	-6,876	-88,212
2 無効水量	89,528	594,987	700,540	689,617	-105,553	-94,630
(1)漏水量	89,089	588,613	694,000	683,779	-105,387	-95,166
(2)その他無効水量	439	6,374	6,540	5,838	-166	536
3 有収率	80.58	85.39	84.16	83.31	1.23	2.08

※当月期の最大配水量は、31 日(木)【27,953m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	3	755,028	1	4,590	1,458	99.8%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	1	188,460	0	0	0	100%
ウ 浄水施設整備事業	14	90,688	6	72,900	0	0	17,788	80.4%
エ 配給水施設整備事業	94	2,395,707	39	1,741,100	29	168,735	485,872	79.7%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.63	0.41	0.49	0.55	0.39
最低	0.54	0.20	0.30	0.30	0.30
最高	0.67	0.56	0.70	0.68	0.43

◎登米水道の放射性物質測定結果(検出されませんでした)

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム 134	セシウム 137			セシウム 134	セシウム 137
保呂羽浄水場	H27.12.18	<0.5	<0.5	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	—	—	—	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	—	—	—	合ノ木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	H27.12.20	<0.6	<0.5
錦織水系浄水場	H27.12.20	<0.4	<0.4	—	—	—	—

特 記 事 項

1 浄水施設・配水施設等業務委託締結、準備開始

1日(火)、平成28年度から5年間の水道事業浄水施設等管理運営業務委託を明電舎・アイケーエス企業体と、配水施設等維持管理業務委託を登米市管工事業協同組合・フジ地中情報(株)共同企業体と契約締結を行いました。受託者から水質検査業務内容など、これからの具体的な内容について回答をいただき、平成28年4月の委託業務開始に向け、打ち合わせ会を行うなど準備を始めました。

2 環境省エネルギー対策特別会計補助事業の現地調査

10日(木)午後2時00分から登米総合支所2階204会議室で、環境省の委託を受けた一般社団法人低炭素社会創出促進協会事業評価部から平成26年度低炭素価値向上に向けた二酸化炭素排出抑制対策事業(上水道システムにおける再エネ・省エネ等導入促進事業)で整備した「北方配水池配水ポンプインバータ設備」の稼働状況、管理状況及び二酸化炭素削減状況等について、ヒアリング、確認調査を受けました。

事業実施後の二酸化炭素削減効果等の検証、評価を行い、今後、効果的な補助事業を実施するための支援制度の検討に必要な情報等を収集することを目的とした調査でした。

書類審査後、北方配水池の現地調査が行われました。なお、指摘事項はありませんでした。

3 米川増圧ポンプ場安全祈願祭行われる

17日(木)午後2時より、米川増圧ポンプ場の安全祈願祭が行われました。

増圧ポンプ場の建設により災害時に米川配水池の水が不足した場合などに、緊急時用連絡管で断水を最小限に留めることができ、緊急時用連絡管の完成後は、災害時等の水の相互融通が可能となり、給水の安定が図られます。

4 12月期災害訓練「給水車操作訓練」を実施

平成28年4月より給水車の運用管理は受託者が行うこととなるため18日(金)午前11時00分、庁舎西側駐車場で12月期の水道事業所災害訓練として「給水車操作訓練」を実施しました。包括受託者が給水車を使用できるように操作方法を確認しました。

参加者が2名一組となり、各バルブの確認、実際に給水車への補水操作や、高所への給水の際使用する車両のポンプの使用操作も体験しました。

東日本震災時には給水車で市内総合各支所において給水活動を行いましたが、本年は、災害や破損事故が少なく、給水活動はあまりありませんが、これから冬期に入り水道管凍結による破損など出動機会が多くなることが想定されることから、参加者は給水車の水抜をはじめ操作方法を再確認しました。

5 平成27年12月の漏水調査結果について

12月末の漏水調査の結果104件87.689m³/h(累計)の漏水を発見しています。

6 地震発生状況

5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。



安全祈願祭



給水車操作訓練

漏水調査結果表

施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	35	51.58
付属施設	7	1.19
給水管	62	34.919
計	104	87.689